



平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ

コード番号 2792

URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	14,299	3.3	440	—	△35	—	△199	—
27年5月期第1四半期	13,844	△8.9	△186	—	130	△82.0	△48	—

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 △459百万円( — %) 27年5月期第1四半期 △85百万円( — %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	△7.15	—
27年5月期第1四半期	△1.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第1四半期	39,781	32,816	82.5	1,177.24
27年5月期	42,161	33,555	79.6	1,203.72

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 32,816百万円 27年5月期 33,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,800	3.5	1,300	72.8	800	△71.6	350	△76.2	12.55
通期	61,500	4.2	2,600	20.0	1,800	△59.3	900	△53.8	32.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年5月期1Q	27,900,000株	27年5月期	27,900,000株
② 期末自己株式数	28年5月期1Q	24,592株	27年5月期	23,992株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年5月期1Q	27,875,777株	27年5月期1Q	27,883,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、これまで緩やかに回復してきた個人消費や輸出が一転マイナスに転じるなど、踊り場入りの状況となりました。

当社グループが属する婦人服専門店業界は、円安による仕入コストの上昇や輸入物価の上昇による実質所得の減少など引き続き厳しい経営環境が続きましたが、7月以降夏らしい天候に恵まれ、夏物衣料を中心に比較的堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、幅広い年齢層をターゲットとした新しいブランド戦略や、年齢層に併せた柔軟な価格戦略を展開いたしました。その他、ファッション誌とのコラボレーション企画、スマートフォンを利用した新しいメンバーズカードの導入、LINEを活用した販促企画などさまざまな販促活動に取り組み、販売力の強化を推進してまいりました。

また、中国における生産コストの上昇に対応するため、ミャンマー自社工場の生産設備増強をはじめ、引き続き、生産国のアセアンシフト等を進めてまいりました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第1四半期連結会計期間末における国内店舗数は840店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、不採算店舗の退店を進めた結果、当第1四半期連結会計期間末における直営店舗数は520店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は142億99百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は4億40百万円(前年同期は営業損失1億86百万円)となりました。一方、為替予約の残高が減少したことに加え、為替が円高に振れたため、デリバティブ評価損を4億73百万円計上し、経常損失は35百万円(前年同期は経常利益1億30百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億99百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失48百万円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は105億94百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は2億96百万円(前年同期は営業損失2億97百万円)となりました。売上高はほぼ前年と同水準となりましたが、生産拠点のアセアンシフト等が功を奏し粗利益率が改善したことに加え、販売費及び一般管理費を削減した結果、増益となりました。

<中国>

中国における売上高は37億04百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益は1億38百万円(同90.0%増)となりました。既存店売上が比較的好調に推移したこと、販売費及び一般管理費の増加を抑制したこと等から、増収増益となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第1四半期連結累計期間における営業損失は53百万円(前年同期は営業利益702千円)となりました。

(注) 好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて23億79百万円減少して397億81百万円となりました。これは、売掛金、たな卸資産が減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて16億40百万円減少して69億65百万円となりました。これは、その他の流動負債、未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて7億38百万円減少して328億16百万円となりました。これは、利益剰余金、繰延ヘッジ損益が減少したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成27年7月7日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純損失等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,781,453	7,248,953
売掛金	4,691,262	3,448,363
たな卸資産	7,789,610	7,270,767
未収還付法人税等	106	108
その他	4,428,621	3,434,576
貸倒引当金	△919	—
流動資産合計	23,690,135	21,402,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,756,219	6,597,164
その他	3,135,965	3,312,897
有形固定資産合計	9,892,185	9,910,062
無形固定資産		
その他	377,670	371,825
無形固定資産合計	377,670	371,825
投資その他の資産		
差入保証金	7,505,462	7,391,437
その他	704,954	712,792
貸倒引当金	△8,901	△7,127
投資その他の資産合計	8,201,515	8,097,102
固定資産合計	18,471,370	18,378,990
資産合計	42,161,505	39,781,760
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,271,428	1,590,590
短期借入金	370,500	—
未払法人税等	815,101	186,045
ポイント引当金	2,590	13,013
資産除去債務	15,301	23,714
その他	4,380,873	3,400,762
流動負債合計	6,855,796	5,214,125
固定負債		
退職給付に係る負債	940,106	948,706
資産除去債務	807,869	800,031
その他	2,688	2,636
固定負債合計	1,750,664	1,751,374
負債合計	8,606,460	6,965,500

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	23,518,520	23,040,319
自己株式	△24,060	△24,672
株主資本合計	31,003,140	30,524,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,246	13,985
繰延ヘッジ損益	1,123,811	817,925
為替換算調整勘定	1,382,999	1,429,682
退職給付に係る調整累計額	30,847	30,339
その他の包括利益累計額合計	2,551,905	2,291,933
純資産合計	33,555,045	32,816,260
負債純資産合計	42,161,505	39,781,760

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	13,844,305	14,299,572
売上原価	5,853,960	5,991,108
売上総利益	7,990,344	8,308,463
販売費及び一般管理費	8,176,522	7,867,809
営業利益又は営業損失(△)	△186,177	440,654
営業外収益		
受取利息	635	829
受取配当金	156	171
為替差益	43,873	—
受取地代家賃	9,266	8,470
補助金収入	51,571	—
デリバティブ評価益	211,621	—
貸倒引当金戻入額	4,382	2,694
雑収入	6,294	4,291
営業外収益合計	327,801	16,456
営業外費用		
支払利息	4,464	3,477
為替差損	—	13,282
デリバティブ評価損	—	473,594
雑損失	7,084	2,602
営業外費用合計	11,548	492,956
経常利益又は経常損失(△)	130,074	△35,845
特別損失		
固定資産除却損	69,074	57,479
減損損失	43,810	98,732
その他	345	7,473
特別損失合計	113,229	163,685
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	16,845	△199,530
法人税、住民税及び事業税	82,214	164,559
法人税等調整額	△17,231	△164,648
法人税等合計	64,982	△89
四半期純損失(△)	△48,137	△199,441
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△48,137	△199,441



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純損失(△)	△48,137	△199,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	△260
繰延ヘッジ損益	122,164	△305,885
為替換算調整勘定	△161,278	46,683
退職給付に係る調整額	1,954	△508
その他の包括利益合計	△37,009	△259,971
四半期包括利益	△85,146	△459,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,146	△459,412
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,634,292	3,210,012	13,844,305	—	13,844,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	72,768	72,768
計	10,634,292	3,210,012	13,844,305	72,768	13,917,074
セグメント利益	△297,024	72,725	△224,299	702	△223,596

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△224,299
「その他」の区分の利益	702
セグメント間取引消去	37,419
四半期連結損益計算書の営業利益	△186,177

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ30,398千円、13,411千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において43,810千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,594,684	3,704,888	14,299,572	—	14,299,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	107,962	107,962
計	10,594,684	3,704,888	14,299,572	107,962	14,407,535
セグメント利益	296,518	138,199	434,717	△53,907	380,810

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,717
「その他」の区分の利益	△53,907
セグメント間取引消去	59,843
四半期連結損益計算書の営業利益	440,654

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ72,434千円、26,297千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において98,732千円であります。